

平成22年度 阪神さくら地区 コミッショナー教育活動方針

スカウト教育法を正しく理解し、

「班制教育・進歩制度・野外活動」を活用し、

本物の Scoutingを展開しよう！！

“本物の Scouting ”

19世紀のイギリスで一人の青年がサッカーのルールを無視して、ボールを腕で抱え走ったことによりラグビーが誕生したと言われていています。根本的なこと(手を使わない)を変えてしまえばそれは異なるもの(ラグビー)になってしまい、私たちが求めるもの(サッカー)ではなくなってしまいます。

Scouting には “目的” があります。

なぜなら Scoutingは 教育であり、

青少年の成長に貢献する、

青少年のための運動 だからです

その Scouting には明確な “方法” が示されています。

そして Scouting はすべて “原理” に基づいています。

これが私たちの “根本的なこと” であり、変えてはならないものなのです。

これこそが創始者ベーデンパウエルが考案した“本物のScouting” にほかなりません。

私たちコミッショナークルーは “本物のScouting” の展開のため3つの実践をいたします。

- 班制度と野外活動を最大限に活かした教育であるために
3班(組)以上で年間3回以上ハイキングを推進します
- 団や隊とコミッショナーが信頼に基づいた密接な関係を保って青少年の成長に関与するために
団訪問やラウンドテーブルを通し
団や指導者とのコミュニケーションを大切にします
- 青少年のための、青少年による運動であり続けるために
ユース年代の活動を最大限支援します

さあ、動きましょう！ 失敗を恐れずに！ Activity First)